

呉駅周辺地域総合開発の推進

国道、鉄道駅、港の3つの交通モードが集積する立地特性を活かし、呉駅周辺地域において、路線バス、次世代モビリティ、鉄道、更には、旅客船やクルーズ船が集積し、世界とつながる次世代型総合交通拠点の形成に取り組みます。

呉駅周辺地域を起点に、地方都市のモデルとして、次世代モビリティ、AIなどの先端技術を実験的に実装し、すべてのひと・モノ・情報がつながる未来社会[Society5.0]の実現に向け、超スマートで、かつ、持続可能な課題解決先進都市を目指します。

呉駅交通ターミナル整備

4つの主要機能
交通ターミナル
デッキ
駅前モビリティゾーンのゾーニング
防災拠点

複合施設整備

その呉駅跡地を活用した駅前の賑わいを創出する複合施設の整備



▲複合施設の機能配置例(実施事業者が作成した整備計画書抜粋)

呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)リニューアル

呉市海事歴史科学館は、明治以降の日本の近代化の歴史そのものである「呉の歴史」と、平和の大切さ、科学技術の素晴らしさを伝える博物館として、平成17年4月に開館しました。現在、開館以来の総来館者数が1,600万人を超え、県内外から多くの方に来館していただいている施設となっています。

しかし、当初の予定を上回る来館者数に加え、平成17年の開館以来、大規模なリニューアルを実施していないことから、施設・設備の経年劣化や、展示に最近の調査研究の成果が反映されていないなどの課題が生じているため、施設と展示の大規模リニューアルを実施します。

リニューアル基本方針

- 観覧環境の充実
- 収蔵・展示機能の充実
- デジタル技術の活用
- 呉の歴史から産業技術・科学技術の素晴らしさとともに平和の大切さを伝える社会的・地域的課題に対応する博物館

リニューアル休館期間：令和7年2月中旬～令和8年3月末
リニューアル開館予定：令和8年4月

スポーツ施設の再整備

呉市総合スポーツセンターの産業団地への転換に伴い、スポーツ施設を中央区、広地区、昭和地区に再整備します。

陸上競技場【入船山公園多目的広場】



▲イメージ図 陸上競技場：日本陸上競技連盟第3公認

多目的グラウンド【サッカー等】・野球場【広島賞谷緑地】



▲イメージ図 サッカー場：3面 野球場：両翼98m、中堅122m

子育て世代に優しいまちに～子どもの居場所づくりと学びの環境づくり

子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを地域全体で支援する環境を整備するとともに、子育て世代が住みやすいまちを目指していきます。

すべての子どもたちを守る医療費助成制度

市内居住の高校生以下のすべての子どもたち(18歳到達後の3月31日までの児童)の通院・入院を助成自己負担：500円/日(通院：月4日まで、入院：月14日まで)。

親子で安心できる育児・病後児保育の充実

子どもが体調を崩し、仕事等で家庭での保育が困難な場合に、病院・保育所等に付設された専用スペースで一時的に預かることで、安心して子育てができる環境を整備

- 利用料の無償化
- 病児・病後児対応型施設の拡充
- 体調不良児対応型施設 私立：10施設、公立：1施設
- 病児・病後児保育登録予約システム スマートフォン等で施設の空き状況の確認、利用登録や予約が可能なシステムを導入

学校施設の環境整備

安全な教育環境を確保するため学校の耐震化を進めるとともに、トイレ洋式化率の向上実施

- トイレの洋式化
 - ※令和7年度完了予定、7年度目標を66%から91.4%へ引き上げ
 - 宮原中学校(屋上防水改修工事)
 - 坪内小学校(耐震補修工事)
 - 宮原小学校、港町小学校(既存校舎解体工事等)

中学校給食の拡充

温かい中学校給食の早期実現のため、既存の小学校給食施設を順次改修

- 令和6年4月提供開始
仁方中・堀原中・阿賀中・和庄中・東畑中・両城中・吉浦中
- 令和7年4月提供開始
白岳中・広中中央・横路中・片山中・呉中中央・昭和中・昭和中北

呉市の概要

明治22年の海軍鎮守府開庁を機に本格的な市街地の形成が進められた呉市は、明治35年10月1日に、全国で55番目に市制を施行し、最盛期の昭和18年には人口40万人を超える日本一であり世界でも有数の海軍工廠を擁するまちに発展しました。

終戦による海軍の解体とともに、人口も15万人に激減しましたが、昭和25年の平和産業港湾都市への再生を目指す「旧軍港市転換法」の制定により、造船、鉄鋼、機械金属、パルプ産業等の企業が進出し、瀬戸内有効の臨海工業地帯としての基礎を確立し、広島県の産業を牽引してきました。

呉市では、令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)までの市政運営の根幹となる計画として、また、将来の呉市の姿を見据えた新しいまちづくりの指針として第5次呉市長期総合計画を策定しました。平成30年7月豪雨災害からの着実で力強い復興を推し進めるだけでなく、呉市ならではの特性と最先端のICTなどを融合させた取組を進めながら、誰もが住み続けたい、行ってみたい、人を惹きつけるまち～イキイキと働き、豊かに安心して暮らし、ワクワク生きる～「くれ」を実現していきます。

呉市のプロフィール

人口(R6.3.31)	203,549人
世帯数(R6.3.31)	105,256世帯
面積(R5.10.1)	352.83km ²
海岸線延長(R5.3.31)	336.9km
一般会計当初予算額(R6年度)	108,960百万円
事業所数(R3.6.1)※公務を除く	8,956事業所
農業産出額(R4)(推定値)	398千万円
工業製造品出荷額等(R4.6.1)	1,028,691百万円
商業年間商品販売額(R3.6.1)	343,243百万円

瀬戸内海国立公園

陸地部分全体面積	66,934ha
(内)広島県部分	10,685ha
(内)呉市部分	4,221ha

地域の主な変遷

年月日	事項	面積(km ²)
明治35年10月1日	安芸郡和庄町、荏山田村、宮原村、二川町を合併し呉市制を施行	23.14
昭和3年4月1日	安芸郡吉浦町、誓固屋町、賀茂郡阿賀町を呉市に編入	48.65
16年4月21日	賀茂郡広村、仁方町を呉市に編入	91.80
31年10月1日	安芸郡天応町、昭和村、賀茂郡郷原村を呉市に編入	143.95
平成15年4月1日	安芸郡下蒲刈町を呉市に編入	155.08
16年4月1日	豊田郡川尻町を呉市に編入	171.83
17年3月20日	安芸郡首戸町、倉橋町、蒲刈町、豊田郡安浦町、豊浜町、豊町を呉市に編入	353.18(合併当時)

海洋文化都市くれの実現に向けて

呉市の特徴である海洋・海事をテーマとして、海洋・海分野の課題解決や地域経済の活性化等に向けた取組を行い、アジアにおける新たな海洋・海事の拠点として「海洋文化都市くれ」の実現を目指す。

海洋文化都市くれとは

これまで海と深い関わりを持ち、育んできた特色ある歴史や文化に加え、海洋・海事の様々な先進的な取組の融合により世界が注目する都市

これまでの取組

- 広島大学・海上保安大学校・笹川平和財団と「呉市・広島大学Town & Gown」構想の推進に向けた海洋・海事の国際的拠点の形成等に関する協定(令和5年7月8日)
- 行政機関、教育機関、企業、関係団体等で構成する「海洋文化都市くれ推進協議会」を設立(令和6年1月31日)

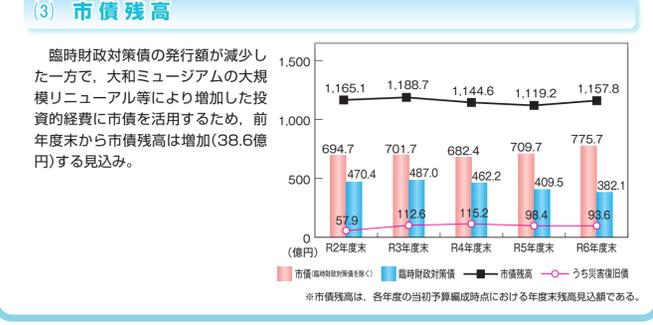
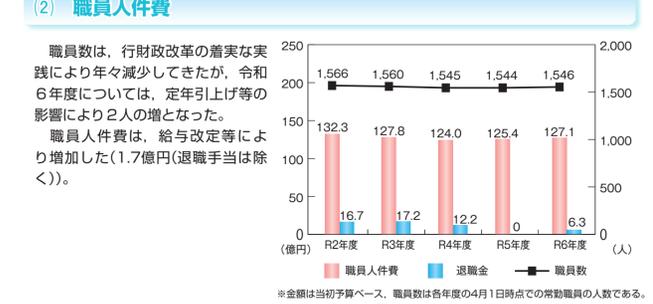
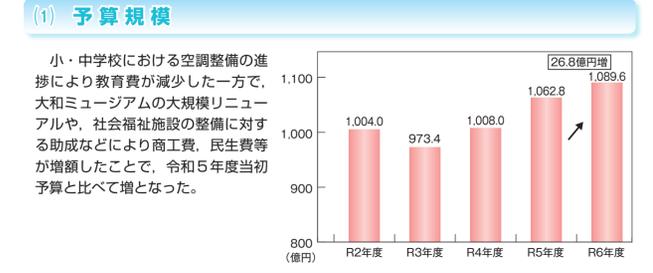
今後の活動(予定)

- 国際的な教育・研究機関である世界海事大学(WMU)との連携や国際学会の誘致
- 海洋・海分野の普及啓発のための(仮称)海洋文化都市くれ海博の開催 など

令和6年度 主要事業の概要



一般会計予算の特徴



第5次呉市長期総合計画

将来都市像

呉市は、豊かな自然に囲まれ、海軍工廠の技術等を生かしたもののづくり産業や豊富な医療資源などを有する多様性に富んだ都市です。

しかし、近年は人口減少、少子高齢化が進行する中で、情報通信等の技術の急速な進歩や自然災害の脅威への対応、さらには新型コロナウイルス感染症の克服など多様な課題が山積し、大きな転換期を迎えています。

このような時代において、私たちは、一人ひとりが危機感を持ちながら主役となって変化する社会や課題に正面から向き合い、柔軟に対応しながら、呉市のあるべき未来の姿に向けた取組を推進します。



好きなんよ
呉

- 質の高い生活が実現されるスマートシティ※1「くれ」
- 新たなチャレンジでビジネスチャンスを生み育てる「くれ」
- 都会にはない心地よい暮らしが人々を惹きつける「くれ」
- 災害に屈しない強靱なまち「くれ」
- SDGs※2を通して豊かな未来を創る「くれ」

これらの未来の呉市の姿を市民や企業などと共有し、その実現に向けた取組を進めることで、豊かで安心な生活が実現し、全ての人々が住みたい、住み続けたい、行ってみたいと思う、人を惹きつける魅力的なまちを目指して、次のとおり将来都市像を定めます。

誰もが住み続けたい、行ってみたい、人を惹きつけるまち「くれ」

～イキイキと働き、豊かに安心して暮らし、ワクワク生きる～

※1 都市や地域が抱える様々な課題に対し、AIなどの新技術を活用して計画、整備、管理・運営等のマネジメントが行われる持続可能な都市・地区のこと。
※2 エス・ディー・ジェー Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までの国際目標。

そのほか「将来都市像」の実現に向けた、8つの政策分野における主な取り組み

新規事業を中心に、各政策分野における今年度の取り組みを紹介します。

子育て・教育分野

子どもの居場所づくりと学びの環境づくり

- 子どもまんがキャンペーン
- 放課後児童会にICTを導入
- 子ども誰でも通園制度(仮称)の試行
- 教育のデジタル化
- スクールカウンセラーの配置

福祉保健分野

誰もが自分らしく暮らせるまちへ

- 複合・複合化した福祉課題への重層的な取り組み
- 初期救急医療体制の確保
- がん患者医療用補正具などの購入費用助成
- 習慣化アプリを利用したフレイル予防

市民生活・防災分野

暮らしの安心と災害への備え

- 地域おこし協力隊員の受け入れ
- 自転車用ヘルメットの購入検討
- パートナーシップ制度の導入検討
- 天志系第2公園の整備、中央公園の防災整備
- 高機能消防指令センターの改修
- 合併20周年記念事業の実施

産業分野

新たなビジネスへの挑戦

- 観光業の促進、脱炭素化技術の研究開発支援
- 産業活用型ビジネスチャレンジ応援事業
- 環境配慮型農業の推進
- 豊かな海の再生に向けた取り組み
- 日鉄呉地区跡地活用調査

文化・スポーツ・学びの機会創出

- 御手洗の歴史ある町並みの魅力向上
- スポーツ施設の再整備の推進
- 観開一人記念球場の大規模改修(カープ2軍戦の開催誘致活動の推進)
- シンジョーオーフアリーの施設更新
- まちづくりセンターの空調改修

都市基盤分野

安全で快適に暮らせるまちへ

- 既存盛土の現況調査
- J R安芸川尻駅のバリアフリー化
- 道路等損傷通報システムの導入
- 公園トイレのバリアフリー化
- RORO船導入に係る阿賀マリノポリス地区の整備
- 水道管路の更新及び耐震化の推進

環境分野

豊かな環境を次の世代へ

- 太陽光発電システムの設置助成
- 省エネ家電の購入促進
- 港湾脱炭素化推進計画の策定
- まちづくりセンターへの太陽光発電設備導入
- 農林道、港湾・漁港施設照明明LED化
- グリーンセンターくれの施設更新

行政経営分野

スマートシティくれへの第一歩を

- 主要20業務の情報システムの標準化対応
- B P R(業務改革)の推進
- 「スマートチャレンジくれ」の実施
- 職員採用の取り組み強化

“未来の呉”について一緒に考えてくれ!

第5次呉市長期総合計画とは

令和3年度～12年度までの10年間を見据え、市の総合的な運営指針。各政策分野で策定する各種計画の最上位に位置しており、「将来都市像」などを定めています。また、小学生を対象とした長期総合計画の子ども版を作成しており、計画を理解してもらい、呉について学び、将来を考える機会も作っています。

詳しくはこちら



諸課題に立ち向かい、未来を切り拓く投資

令和6年度は、次の6つの取り組みを中心に、8つの政策分野で未来を見据えた投資を行うことで、将来都市像「誰もが住み続けたい、行ってみたい、人を惹きつけるまち「くれ」」の実現を目指します。

◆令和6年度予算における6つのポイント

- 企業立地・呉駅周辺地域総合開発の推進**

企業立地の推進
呉市総合スポーツセンターの産業団地への転換など、企業立地を推進

呉駅周辺地域総合開発の推進
呉駅周辺地域総合開発を推進し、呉駅の交通ターミナル整備に向けた、市所管物件の解体や移設などを実施し、新しい建物がスマートシティへの第一歩に

▲解体が進む旧こ貝店
- 子育て・教育環境の充実**

病児・病後児保育の充実
令和6年4月から病児・病後児対応型施設の利用料を無償化し、利用手続をICT化するともに、体調不良児対応型施設を新たに11ヵ所開設

令和6年秋頃には、病児・病後児対応型施設を中央区で新たに2ヵ所開設

学校の耐震化・トイレの洋式化
安全な教育環境を確保するために、学校の耐震化を進めるとともに、トイレの洋式化率を向上

温かい中学校給食
小学校給食施設を順次改修し、温かい中学校給食を実現
- 海洋文化都市の実現**

呉市・広島大学Town&Gown構想の推進
広島大学・海上保安大学校・笹川平和財団と連携し、海洋・海事でのD X・G Xや、アジアにおける新たな拠点づくりなど、「海洋文化都市くれ」の実現をめざす
- 大和ミュージアムのリニューアル**

大和ミュージアムの大規模リニューアル
博物館としてだけでなく、大和の歴史や文化、大和ミュージアムの設備改修や、施設及び展示の大規模リニューアルを実施

「呉・大博覧会」の開催
大和ミュージアムの体面対策として、1/10大和の館外からの見学環境整備や展示室の設置、特別企画展の開催、各種イベントの拡充など

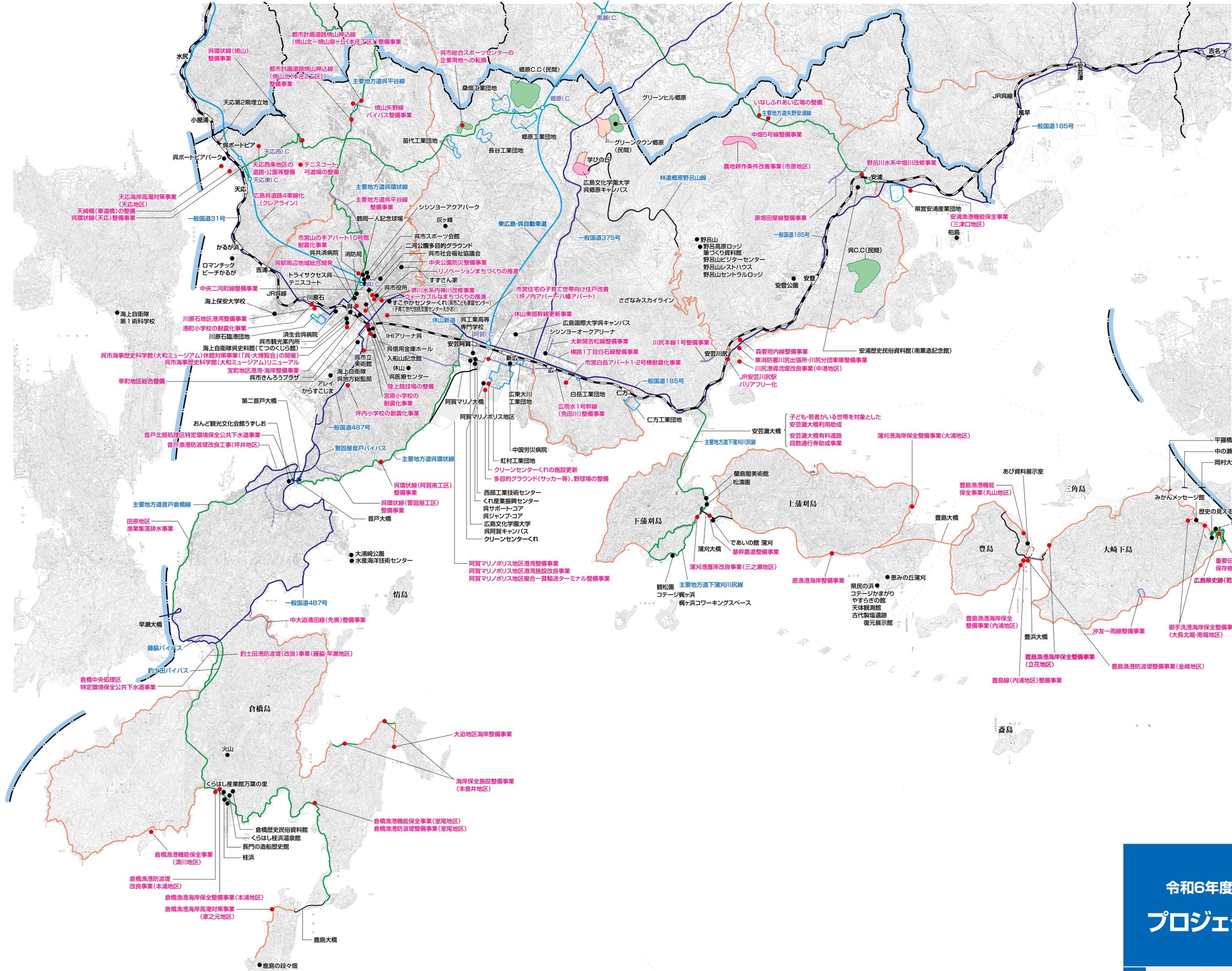
▲大和ミュージアム
- にぎわい空間の創出**

幸町地区総合整備の推進
青山クラブ・桜松園、呉市立美術館、入船山記念館が集積する幸町地区全体の魅力向上を目指して、歴史・文化・芸術の拠点として整備するとともに、総合整備方針の策定に向けた検討を実施

ウォークアブル空間づくり
蔵本通りや明川両岸の中央公園一帯の公共空間を、安心・快適・歩きやすいウォークアブル空間へと再構築するに当たり、ワークショップなどを実施
- 引き続き、当り前の日常を笑顔で暮らすために**

いきいきバスの新乗車券システムへの移行
広島電車が令和6年度末にP A S P Yを廃止して、新たな乗車券システムへの移行を予定していることに伴い、いきいきバス(登車・降車者)利用者や、引き続き乗待滞滞バスが利用できるよう対応

認知症と共に生きるまち(認知症パッケージ事業)の推進
認知症に対する偏見解消や早期受診などにつながるよう、検診や生活支援など従来の取り組みを拡充



令和6年度 呉市 プロジェクトマップ

一般国道	自動車専用道
主要地方道	臨港道路・農道等
一般県道	事業中

凡例